

サンビレッジ茜の存続に関する請願

(要旨)

サンビレッジ茜について、スキー場エリアの電源不具合を解消し、一年中、人工芝スキーができる施設としての再開と存続を請願する。

(理由)

私達スペシャルオリンピックス日本・福岡アルペンスキープログラムは、約15年間に渡り、サンビレッジ茜を練習拠点としてトレーニングに励んできた。知的障害や発達障害があってもスポーツができる喜びをここで育み、ここでのトレーニングや、一般の方々と共に参加する競技会経験を通して、技術を向上させ、成長してきた。全国大会や世界大会に挑戦できたアスリート達もいる。

しかし、サンビレッジ茜の休止に伴い、これまで出来ていた年間を通してのスキー練習ができなくなり、技術を磨くことはもとより、目標や意欲を継続することが難しくなっている。再び、サンビレッジ茜スキー場でトレーニングに励むことを皆強く希望している。

財政的な問題については理解を示しつつ、ぜひとも費用がかからない、もしくは低額の費用で運営を委託できる委託先を早急に見つけ、運営を再開していただきたい。

令和7年11月25日

飯塚市議会議長 江 口 徹 様

請願者

[Redacted Name and Address]

紹介議員

藤 間 隆 太
吉 松 信 之

金子加代

ごみ処理計画の抜本的な見直しを求める請願

(要旨)

次の事項に特に配慮の上、ごみ処理について抜本的な見直しを進めていただきますよう強く求めます。

- 1 市民と市議会への十分な説明と丁寧な協議の上で見直しを進めること
- 2 ごみの減量化や施設の長寿命化について十分な検討を行うこと
- 3 市財政への影響が最小限となるよう十分な検討を行うこと
- 4 ふくおか県央環境広域施設組合に対し、上記1～3に最大限配慮するよう強く求めること

(理由)

飯塚市・嘉麻市・桂川町のごみ処理を行っている「ふくおか県央環境広域施設組合」(以下「県央」と述べます)では、施設の老朽化を理由にごみ処理施設の新設計画が立てられていますが、ごみの減量化や今ある施設の長寿命化の検討が不足しています。

また、県央新設計画が関係市町の財政に与える負担は非常に大きく、飯塚市も嘉麻市も令和12年度末に財政調整基金等の貯金が底をつくことが予想され、ごみ袋を含めた公共料金の値上げや他の事業へのしわ寄せが行われるのではないかとの心配の声もあります。

そのような状況から、当会として、11月21日に県央の組合長と議長宛に「ごみ処理施設の新設計画の見直しを求める請願」を8046筆の署名を添えて提出しました。

その後、11月26日に開かれた県央議会で、飯塚市長である武井政一組合長は、ごみ処理施設の計画等の見直しを行うと表明されました。

県央の規約によると、ごみ処理施設の設置に関する経費は人口割となっており、飯塚市の負担は約73%となります。

それだけ多額の負担をする飯塚市におかれましては、市民生活を守るため、県央のごみ処理施設等の見直しにあわせ、次の事項に特に配慮の上、ごみ処理について抜本的な見直しを進めていただきますよう強く求めます。

- 1 市民と市議会への十分な説明と丁寧な協議の上で見直しを進めること
- 2 ごみの減量化や施設の長寿命化について十分な検討を行うこと

